

選ばれる県 ― 挑戦する企業 群馬産業



群馬県庁新庁舎。2022年4月に完成した。写真提供：群馬県庁

G7サミットは先進7カ国（フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ）の首脳と欧州理事会議長、欧州委員会委員長が参加して毎年開催される国際会議で、国際情勢や地球規模の課題について意見交換する。2023年5月19～21日、広島市で「G7広島サミット」が開催される。日本での開催は7回目となる。

G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合

「Gメッセ群馬」で来年4月開催

ローチなどがテーマになると想定される。22年9月16日、山本一太群馬県知事は開催決定を受けて臨時記者会見を開き、「県が取り組んできたデジタル化へのさまざまな努力、市町村や民間の努力、こういうものが相まり、みんなで頑張ってきた総合力が生み出す発信力が認められた」とした上で、「実は最も（群馬県で）やりたかった会議なので、すくなくうれしうれしう手放して喜んだ。県は、日本最先端クラスのデジタル県」を掲げ、産業経済や環境などの19政策分野で「ぐんまDX加速化プログラム」を展開している。産学官によるこれらのデジタル化への熱意が実を結んだ。

「デジタル県」発信

群馬県は「選ばれる県」として存在感を発揮している。2023年4月に先進7カ国首脳会議（G7サミット）に伴う「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開かれる。工場立地件数、首都圏からの本社移転件数も上位に位置する。地域ではユニークな取り組みが活発化しており、多くの「挑戦する企業」が活動している。県産業の魅力を紹介する。

来年4月に「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開かれるGメッセ群馬（群馬県提出）

県主催の開催記念事業として、同年3月21、22の両日、Gメッセ群馬で「ぐんまデジタルランド」も開く。「群馬から10年、20年先のイノベーションな未来を」がコンセプト。最先端のデジタルテク

開催まで約4カ月となり、同推進室では精力的に準備を進めている。事業計画は受け入れ整備関連、機運醸成関連、おもてなし関連の3事業が柱となる。庁内の計31部署の幹部で連携会議を開き、できることを掘り起こした。各部署の情報を共有して横断的に取り組むことを確認。さまざまなアイデアの実現可能性を検討している。

「オール群馬」で推進



「最も（群馬県で）やりたかった会議」と山本県知事



県主催の開催記念事業として、同年3月21、22の両日、Gメッセ群馬で「ぐんまデジタルランド」も開く。「群馬から10年、20年先のイノベーションな未来を」がコンセプト。最先端のデジタルテク

認知度向上 MICE誘致・温泉王国誘客 期待

出展し、県内企業の先進技術、食や温泉をアピールする。会合の共同記者会見後は、心身を癒やす「リトリート体験」のプログラムを検討中だ。

県にとって同大臣会合が開かれる意義は大きい。デジタル化の推進に向けた県民の理解を深め、デジタル技術による地域課題解決への取り組み加速が見込まれる。だが、それだけではない。県が誇る食や温泉の魅力を世界に発信する絶好の機会になる。

県の温泉地は約100カ所。関東一の温泉王国を誇る。自然湧出量が日本一の「草津」は、日本三名泉の一つとして知られる。情緒豊かな石段街の「伊香保」、高所温泉「万座」など、個性的で魅力ある温泉地、さまざまな泉質の湯を楽しむ。

こうした日本の温泉文化を国連教科書文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録することを目指す動きも活発化している。山本県知事らの働きかけにより、11月に与党国会議員の議員連盟が発足し、知事の会も設立された。

12月に県温泉協会、県旅館ホテル生活衛生同業組合などが登録推進協議会を立ち上げた。同大臣会合では、宿泊地として伊香保温泉と高崎市を軸に調整されている。温泉を体験してもらうことにより、登録推進にも弾みがつく。

県は開催による経済波及効果を5億円と試算している。これにより、県の認知度向上により、デジタル関連

これからは、サステナブルな冷媒で

GreenR™

「OILMATIC」をはじめとする当社製品に使用する冷媒について、これまでの「代替フロン」から、自然冷媒など温室効果の小さい「グリーン冷媒」へ、置き換えを加速しています。

「グリーン冷媒」搭載機種を「GreenR™」と名づけ、ラインナップ化を開始しました。「GreenR™」搭載機種は専用ロゴで明示。工作機械の主軸冷却やクーラント液の温度制御など、熱変位の抑制に対応するアプリケーションを順次増やしていく予定です。

ブランドを支えるブランドでありたい

We stand behind the brand.

SDGsへの取り組み

当社のSDGsの取り組みについては、こちらよりご覧いただくことができます。

9

産業と技術革新の基盤をつくろう

12

つくる責任つかう責任

13

気候変動に具体的な対策を

OILMATIC

AUTOMATIC LIQUID TEMP. REGULATOR

油温自動調整機

関東精機株式会社

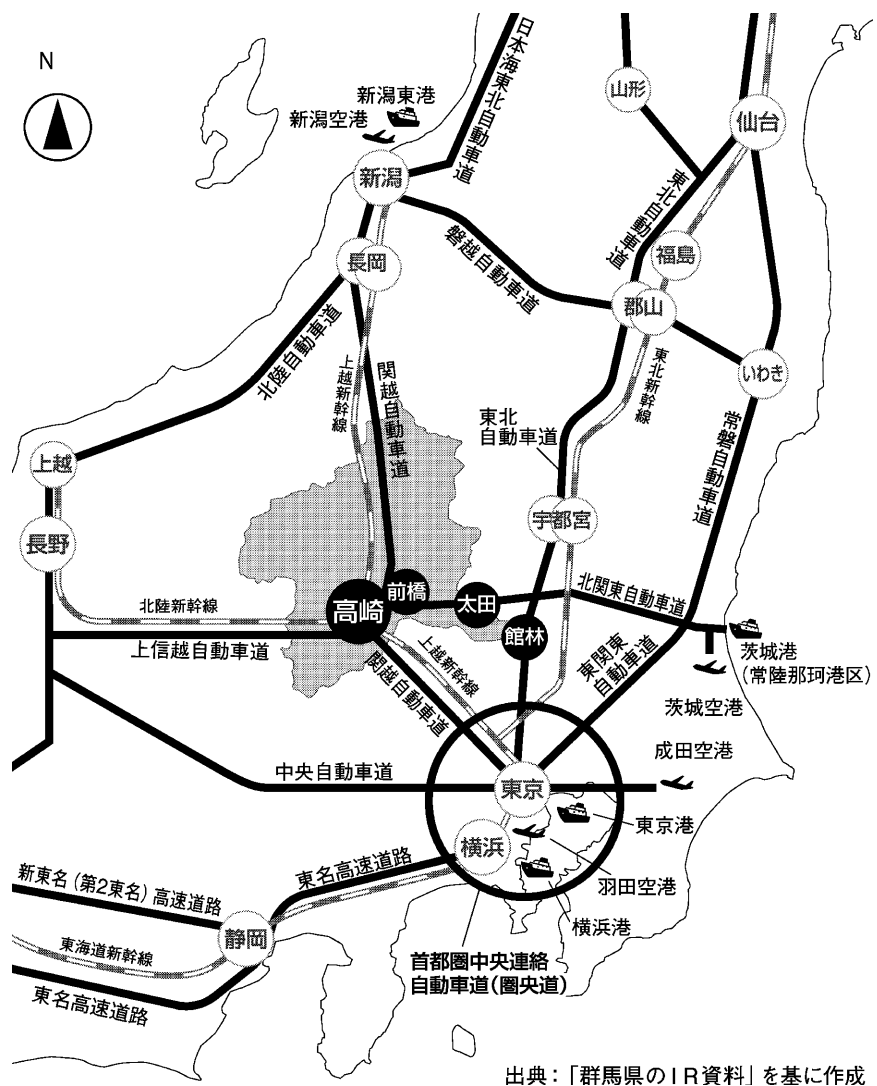
【本社】〒371-0854 群馬県前橋市大渡町 2-1-10

TEL.027-251-2121 FAX.027-251-0924

<https://www.kantoseiki.co.jp/>

群馬銀行 深井 彰彦 頭取に聞く

県の魅力／県産業の現状・課題



出典：「群馬県のIR資料」を基に作成

群馬県の工場立地件数は全国でも上位に位置し、選ばれる県として存在感を示している。日本有数の自動車産業集積地としても知られる。一方、コロナ禍や原材料・燃料高などにより、県産業界を取り巻く環境は厳しさを増している。日刊工業新聞社取締役東日本支社長の竹本祐介が、群馬銀行の深井彰彦頭取に、県の立地優位性、県産業の現状と課題などを聞いた。

群馬県の工場立地件数は全国でも上位に位置し、選ばれる県として存在感を示している。日本有数の自動車産業集積地としても知られる。一方、コロナ禍や原材料・燃料高などにより、県産業界を取り巻く環境は厳しさを増している。日刊工業新聞社取締役東日本支社長の竹本祐介が、群馬銀行の深井彰彦頭取に、県の立地優位性、県産業の現状と課題などを聞いた。

深井氏 過去100年間で震度4以上の地震発生件数は73回と、関東で最も少ない。また水害被害額は過去10年間で560億円と、関東の他6都県の平均1775億円、全国平均1577億円を大きく下回る。

東京圏に近く 安い地価

高速道路網が充実

深井氏 過去100年間で震度4以上の地震発生件数は73回と、関東で最も少ない。また水害被害額は過去10年間で560億円と、関東の他6都県の平均1775億円、全国平均1577億円を大きく下回る。



選ばれる県

挑戦する企業

群馬産業

群馬銀行 頭取 深井 彰彦氏

在が大きい。太田市だけではなく、群馬県と栃木県の県境を挟んだ両毛地域と呼ばれる群馬県の太田市・桐生市・館林市、栃木県の足利市・佐野市などの一帯は、技術蓄積があり、高い開発力を有する中小企業が集積している。その源流は終戦まで国内最大の航空機メーカーだった中島飛行機にある。当時、両毛地域には日本トップクラスの技術者や研究者がおり、「初代社長は中島飛行機に勤めていた」という地域のサブライヤも多い。

深井氏 県は群馬県産業支援機構に自動車サプライヤー支援センターを置き、基礎強化や開発提案力の向上を支援している。また群馬銀行と足利銀行が締結した「りょうもう地域活性化パートナーシップ」はサブライヤー支援が活動の柱の一つだ。竹本 具体的にはどのような活動を展開されるのですか。

深井氏 群馬、足利の両行で知恵を出し合い中小サプライヤーに対して何ができるかを議論していく。お客さまの了解を得られれば、資金の提供やビジネスマッチング、場合によってはM&A（合併・買収）や事業承継といった踏み込んだ提案をすることもできる。中小サプライヤーは、高度な技術を有しているが、その技術をどのように生かして新分野を開拓するかが課題だ。コンサルティングなどを通じ、伴走しながら可能性を広げたい。

竹本 最後に群馬県産業の発展に向けて、何が必要だと思われますか。

人手不足解消 トップ外交に期待

深井氏 生産年齢人口が減少し、全国的に人手不足が問題になっている。群馬県も例外ではないですね。深井氏 群馬県の外国人住民数を国籍別で見ると、1位はブラジルで、2位はベトナムだ。例えば太田市ではブラジルからの外国人労働者が多く働いているが、コロナ禍に加え、足元は田舎で賃金の魅力も落ちている。8月に山本一太群馬県知事がベトナムのクエン・スアン・フック国家主席と会談し、経済関係の強化していくことを確認したが、今後の成果を期待できるトップ外交だった。私も同行して関係者にいろいろな話を聞いたが、人材を送り出すベトナム、受け入れる日本の双方に課題があると感じた。今後、これらの課題を一つひとつ解決していく必要もあるだろう。

深井氏 確かに大きなダメージを受けたが、客足は緩やかに戻ってきている。先日、伊香保温泉を訪れたが、けっこうな人出だっています。

再エネ循環 広域ネットワーク

竹本 産業界にとって脱炭素化が重要課題になっています。

深井氏 脱炭素化への姿勢が問われており、投資家や消費者の目も厳しくなっている。サブライチーン

竹本 これからも県産業界の一翼を担ってほしいと思います。本日はありがとうございました。



日刊工業新聞社
取締役東日本支社長
竹本 祐介

全体で脱炭素化を図る動きが出ており、中小企業・小

Green Chemical Industryとして 社会の持続的成長に貢献します。

GCI

GUN EI Chemical Industry

群栄化学工業株式会社

群馬県高崎市宿大類町700番地 TEL:027-353-1818



守りたい ふるさと豊かな自然

私たち株式会社ヤマトグループは、かけがえのない自然を守り、人々の生活を支える企業でありたいと考えています。建設事業を通じて、お客様に価値のある技術・製品を提供し、豊かな地域社会づくりに貢献してまいります。

建設プロダクト ヤマト

群馬県前橋市古市町118 〒371-0844
URL www.yamato-se.co.jp



MaaS社会実装・暮らしテック推進

デジタル街づくり先進地

前橋市で今、二つのデジタルプロジェクトが進行している。国のデジタル田園都市国家構想で推進交付金の採択を受けた「ぐんま共創モビリティ社会推進事業」とまえばし暮らしテック推進事業だ。前者はMaaS（乗り物のサービス化）の社会実装、後者は個別最適化された各種市民サービスへの提供がテーマ。10月に河野太郎デジタル相、12月に西村康稔経済産業相が相次いで来県し、市のデジタル化への取り組みなどを視察した。

前橋市

の視直しなどによる交通網の最適化につながる。マイナンバーカードと交通系ICカードとの連携にも取り組む。連携により、例えばスイカだけでも年齢や障害認定を判別できるようなり、決済とセットになった市民割引や福祉割引などを適用する可能性が広がる。23年2月末に群馬版MaaSへ昇華し、県域展開する計画だ。

また市はマイナンバーカードを活用した「マイタック」や自動運転バスなどを体験し、「こうしたいい例をしっかりと横展開できるようにサポートしていきたい」と強調した。



「マイタック」の説明を受ける河野デジタル相（右から2人目）

「まえばし暮らしテック推進事業」で提供するサービス

分類	#	サービス名
先端的サービス	1	コミュニティ共助教育
	2	アレルギー情報の多角連携による寄り添うサービスの創出
	3	オールインワン母子手帳とデジタルソーシャルワークによる子育てサポート
	4	シミュレーション運転時の生体データを活用した危険運転度合いの測定
	5	デジタル共助ポイントによる文化・芸術・地域活性化
	6	緑化・生態系の可視化による環境意識の醸成
	7	電力データ活用イネカ情報見える化による地域見守り
	8	不動産ID データとめくIDの連携による賑わい創出
	9	ぐんま共創モビリティ社会の推進
基盤系サービス	10	デジタル共助ポイント
	11	パーソナライズ化されたスマホ版まえばしダッシュボード
	12	対面遠隔デジタル窓口
データ連携基盤	13	データ連携基盤（めく ID を含む）

出典：前橋市デジタルグリーンシティ推進委員会の資料を基に作成

データ連携 最適化サービス



「デジタルツインあなざん連携システム」の説明。さらに福田取締役は「二人ひとりとって最適なサービスをつくること、世界のIT競争の軸になっている。こうしたことができる仕組みをつくるかを議論してきた」とし、新会社が解の一つであると述べた。

10月下旬からめくIDを発行し、市が提供している電子母子健康手帳アプリと連携した「めくID連携（遠隔健康）（栄養）相談アプリ」を始めた。「デジタルツインあなざん連携システム」（1次提供）も実施した。22年度末にかけて順次、サービスを拡充する。西村経産相は視察後、新会社の活動について「G7

群馬高崎デジタル・技術大会では、信頼ある自由なデータ流通（DEFT）のルールづくりについて議論したいと思っている。まさに世界レベルで我々がやろうとしていることを、県内で進めている」と、感嘆していた。

デジタル映像クリエイティブ拠点整備

オンリーワンの発信源に

JR高崎駅東口から徒歩約15分に位置するコンベンションセンター「Gメッセ群馬」がデジタル映像クリエイティブ拠点に生まれ変わる。2022年度中に日本最大規模のグリーンバック撮影環境を整備する。山本一太郎群馬知事は「ワン・オブ・ゼムからオンリーワンになる」と力を込める。

高崎市



「クラフィックス（CG）を合成するために用いる。同40坪と、壁3面に吊る。面積は計約3300平方メートルと広大。よりダイナミックに、ほかの施設では対応できない視覚効果（VFX）による撮影ができるようになる。」

Gメッセ群馬は北関東最大級の展示場。浅草キッド。屋外展示場に浅草の町を再現したオープンセットが組まれて撮影された。今後運用を検討する。

次世代デジタル人材育成



「ツクルン」で始動人々を育てる。始動人がGメッセ群馬で撮影し、上映する。始動人が開発したゲームのeスポーツ大会が、Gメッセ群馬で開かれる。こうしたクリエイティブの好循環が生まれ、Gメッセ群馬が発信源になる日もそう遠くはない。

「ツクルン」で始動人々を育てる。始動人がGメッセ群馬で撮影し、上映する。始動人が開発したゲームのeスポーツ大会が、Gメッセ群馬で開かれる。こうしたクリエイティブの好循環が生まれ、Gメッセ群馬が発信源になる日もそう遠くはない。

選ばれる県 挑戦する企業 群馬産業

経営のバトン渡しをサポートします。

～親族内承継・第三者承継・経営者保証解除等～

群馬県 事業承継・引継ぎ支援センター



群馬県前橋市亀里町884-1 群馬産業技術センター内
TEL: 027-265-5040

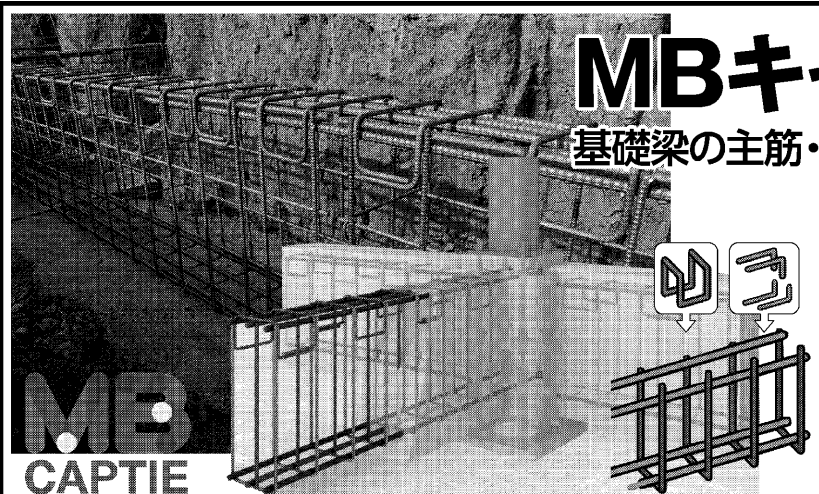
事業承継・引継ぎ支援センターは（公財）群馬県産業支援機構が国からの委託を受けて実施している事業です。
※経営者保証解除には一定の要件があり、最終的な解除の判断は各金融機関等が行います。

工場立地 昨年全国4位 「高崎玉村」募集中

群馬県の21年通期の製造業等立地件数は、49件と全国4位だった。17年2位、18年2位、19年4位、20年4位と、上位で推移している。21年の内訳は金属製品が13件で、食料品7件、生産用機械器具6件と続いた。地区別は大田・館林20件、前橋・伊勢崎10件で過半を占めた。一方、立地面積は21年に67.2万㎡で同6位。17年10位、18年3位、19年4位、20年6位だった。背景には主要な工業団地が完売していることがある。

MBキャップタイ

基礎梁の主筋・あばら筋溶接ユニット



- ・工期短縮・省施工によるコストダウン
- ・鉄骨造6階建てまで対応
- ・日本建築センターの評定取得

三栄商事株式会社

〒370-1201 高崎市倉賀野町2453-8
TEL 027(346)1100 FAX 027(346)1102

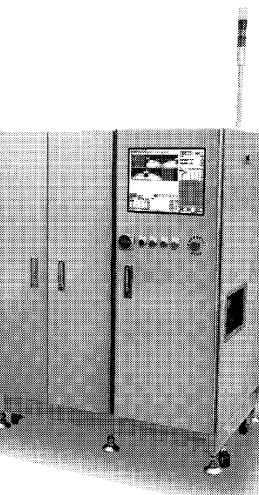
世界中の車の中に 心ひろがる技術を

VISION CHALLENGE SPEED



株式会社 ミツバ 群馬県桐生市広沢町1-2681 〒376-8555
0277-52-0111 http://www.mitsuba.co.jp

食の安心・安全を提供するプロダクトイノベーション



藤田デバイスは独自の画像処理技術を開発し、加工食品の外観検査装置などを展開している。冷凍麺や焼き菓子などの外観検査は、形状が不安定だったり、色味が不均一だったりすると、良品と不良品の判定が難しい。こうした課題を解決したのが、業界初の多面外観検査装置「IG-DSS M01」だ。

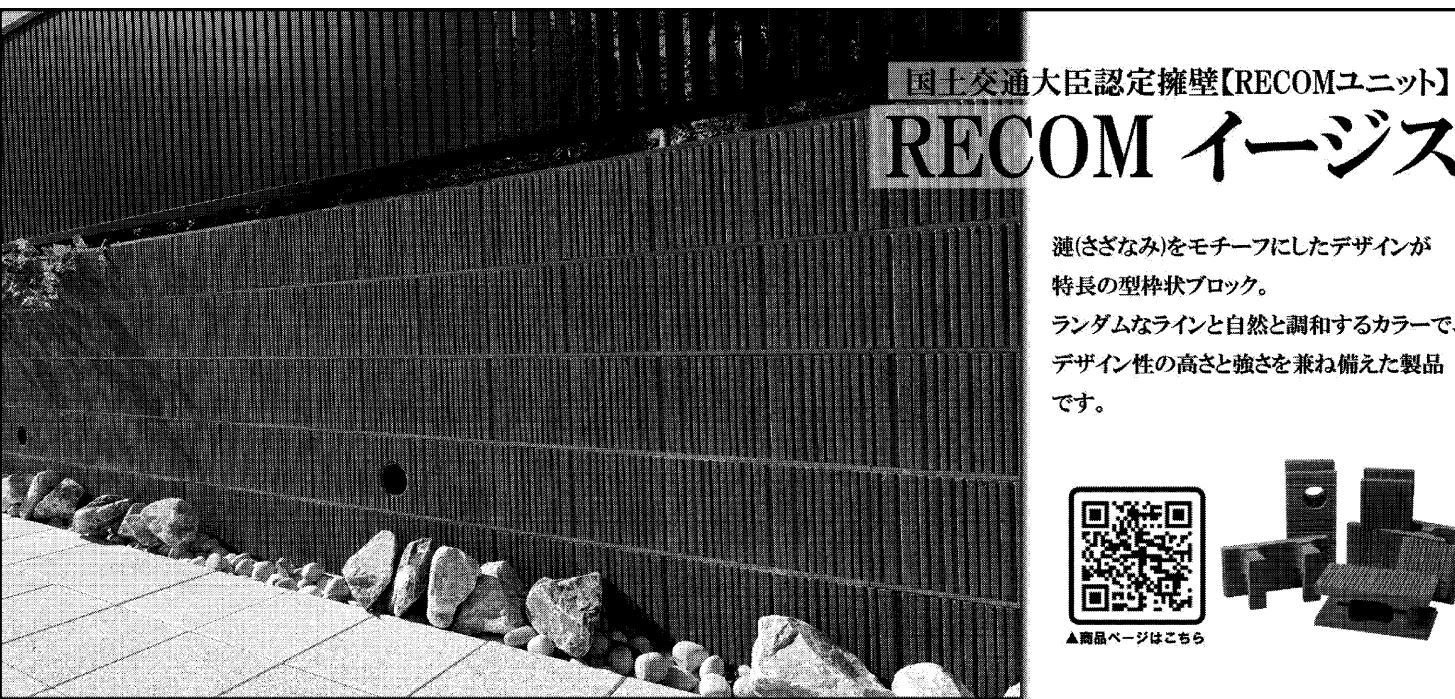
多面外観検査装置「IG-DSS M01」

表裏・側面の全周囲を撮像する6台のカメラとレーザー照射装置で構成。緑色のラインレーザー光を照射し、欠け部分などの緑色反射光を撮像する。金属や髪の毛などの異物混入、成形不良、焼き色入、穴あき、割れや欠けを調べる。検査装置を提案する。

検査精度はミクロン単位以上。製造ラインのコンベヤー速度が毎分50分の1の場合、毎時1万2000個を検査できる。NG発生時はNG製品画像を表示し、NG品を一目で確認できる。目視検査に比べて品質向上や省人化を図れる。装置開発部の中野敏之部長は「最先端技術をシナリオティを融合し、お客さまに

藤田デバイス株式会社 FUJITA DEVICE CO.,LTD.

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町298
TEL.027-395-1211 (代表)



国土交通大臣認定擁壁【RECOMユニット】 RECOM イービス

速（さざなみ）をモチーフにしたデザインが特長の型枠状ブロック。ランダムなラインと自然と調和するカラーで、デザイン性の高さと強さを兼ね備えた製品です。



安心な製品の提供と安全な施工のサポートに邁進します
エスビック株式会社

高崎営業所 〒370-0015 群馬県高崎市島野町890-4
TEL:027(352)8423 FAX:027(352)8427

「飲む感動」「美味しさ」「喜び」「新しさ」を
通じて 皆様に信頼される企業グループを
目指しています。

ノウハウ蓄積活動軌道に

私たちは、自動車の車体骨格部品やサスペンションパーツ、
住宅の構造部材や外構部材の開発・製造メーカーです。

TOA

東亜工業株式会社

〒373-0847 TEL 0276-31-7200 (代)
群馬県太田市西新町126-1 FAX 0276-32-1979

URL <https://www.toaweb.co.jp>



SYSTEM

TOTAL SYSTEM DEVELOPER

自動化省力化のアシスタント

<https://system-tds.co.jp/>

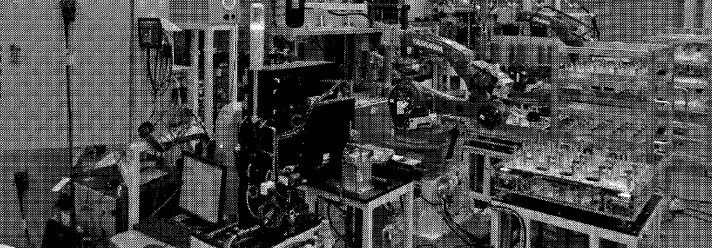
ものづくりのパートナー

株式会社 システム

〒379-2235 群馬県伊勢崎市三笠町6058-2

TEL.0270-40-0333(代)

FAX.0270-40-0331



安全!迅速!簡単!「安心カンカン」

「安心カンカン」は、スプレー缶・カセットボンベ・ライターなどの「発火性危険物」を真空+窒素処理で安全に破砕処理する装置です。缶・ボンベの処理能力は毎時400-600本。完全自動運転なので、操作も簡単です。安全を担保、管理するためのメンテナンスを必須にした5-10年の長期レンタルです。



「安心カンカン」は
日本産業機械工業会主催の
「第37回優秀環境装置表彰」で
「中小企業庁長官賞」を
受賞した製品です。

稼働状況の常時モニタリングで故障や異常発生時に即応!!

株式会社 中島自動車電装

<https://www.nakajimadensou.co.jp/>

前橋センター 〒379-2122群馬県前橋市駒形町1506
TEL:027-226-6156 FAX:027-226-6157
本 社 〒372-0812群馬県伊勢崎市蓮取町3290-5
TEL:0270-24-5678 FAX:0270-23-5567

